

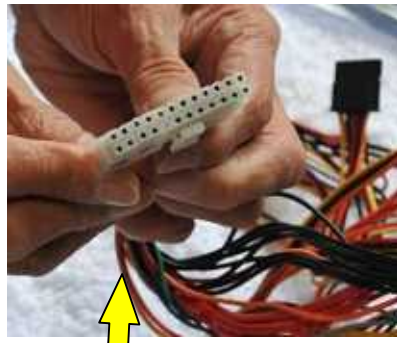
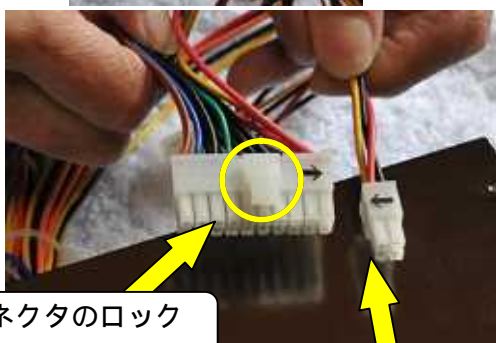
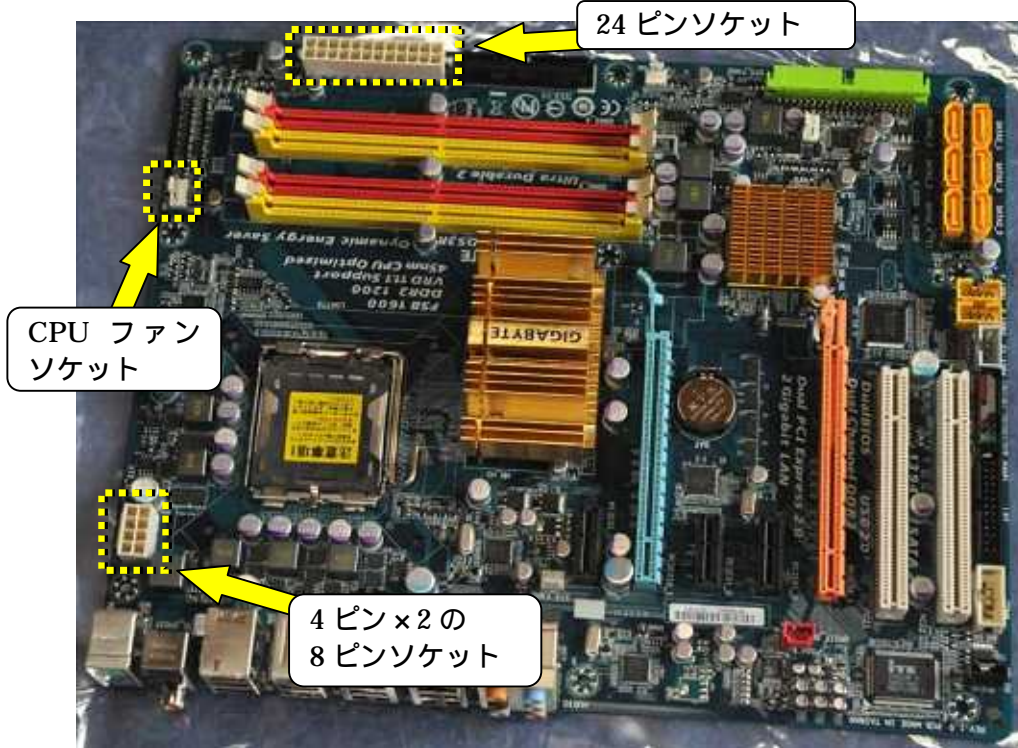
## 電源コネクタの接続

マザーボードには電源ユニットから出ている2種類の電源コネクタ(ATXパワーコネクタ【24ピン】(又は20ピンと4ピンに分かれています)とATX12V【8ピン】)で電力を供給します。

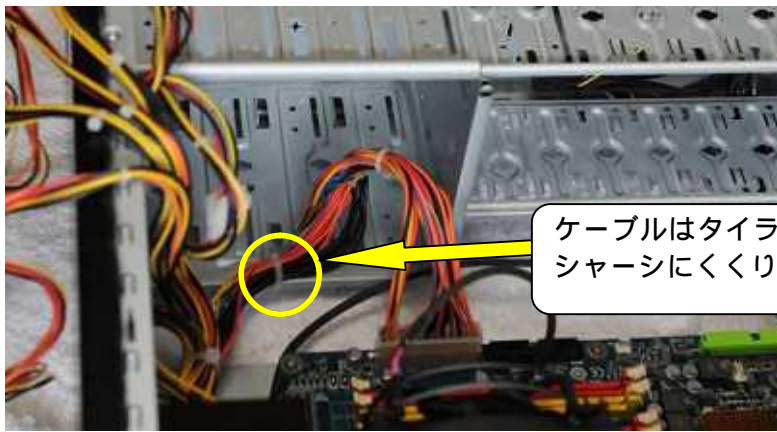
電源ユニットからは20ピン、8ピン、4ピン(2種類)、SATA用、FDD用等のコネクタが出ています。

このマザーボードの電源は24ピンなので、20ピンと4ピンを合わせて24ピンにします。

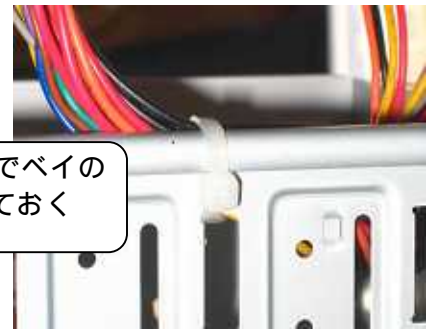
電源ユニットによっては最初から24ピンになっているものもあります。以前のマザーボードでは20ピンを使っていたので、どちらのマザーボードでも使えるようになっているのです。



4ピンと20ピンのコネクタと合わせて24ピンとしてマザーボードに差し込む。あわせる方向に矢印がある

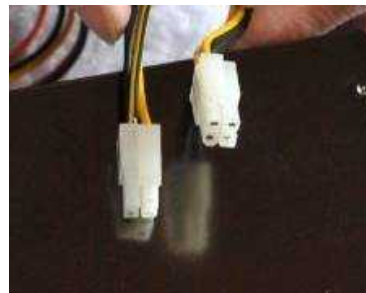


ケーブルはタイラップでベイのシャーシにくくりつけておく



コネクタのピンの穴の形、またはコネクタケースの形により逆向きには差し込めないようになっていますので向きを見て差し込んで下さい。

(マザーボード上のソケットは片側に凸があり、これが電源コネクタとのロック機構として働きます。従って、電源コネクタは上から強く押し込み、カチッと音がするまで差し込みます。外すときはこのロックを解除しながら引き抜きます。)



ピンそのものは丸い形をしています。  
24ピンにして使った4ピンのコネクタとは別に田型の4ピンコネクタがあります。これは電源からCPUへ供給するATX12Vコネクタです。CPUの傍にある8ピンの(田型×2)のソケットに接続します。



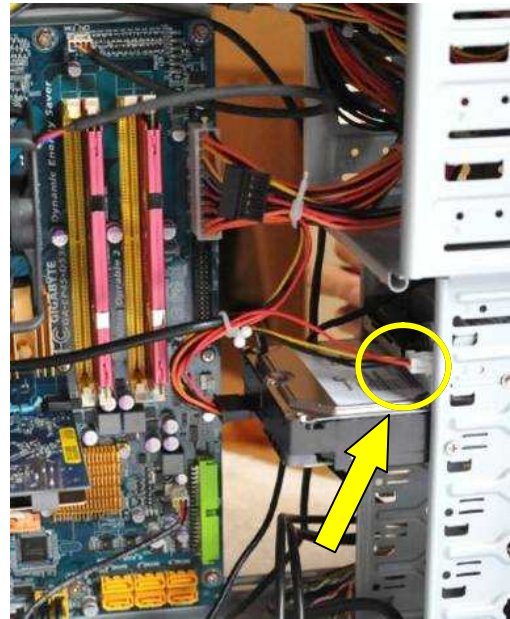
4ピンコネクタ(田型)を2本差し込む

## FDD 用電源

FDD へは小さい平型 4 ピンの電源コネクタです。FDD の後ろ側に接続します。

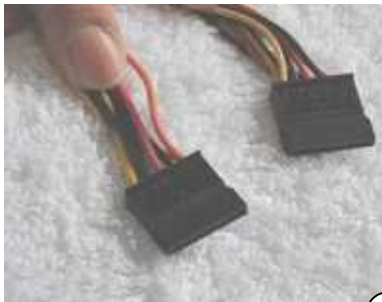


この電源コネクタに  
差し込む



## SATA 機器用電源

光学ドライブ (DVD マルチドライブ) と HDD へは SATA 用 L 型電源コネクタで接続します。



電源コネクタの断面が L 字型  
になっているので差し込む方向を  
間違えることはありません



信号用の断面は逆向きの L 字  
型になっていて大きさも電源  
用よりも小さい



DVD



左が電源コネクタ



電源用は左側の大きいコネクタ、  
信号用は右側の小さいコネクタ



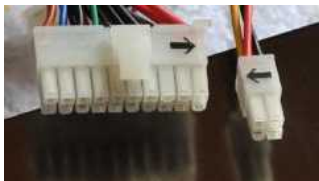





### ケースファン用電源

ケースのファンへは4ピンコネクタです。ケースによっては3ピンコネクタの場合があります、その場合はマザーボードのコネクタに接続します。

このケースファンは前と後ろおよび前面から見て左の3か所についています。

電源ユニットは「交流」を「直流」に変換し、各パーツが使用する3種類の電圧(+3.3V、+5V、+12V)に変圧しています。変圧された電気は数種類のコネクタから、マザーボードや各パーツへ供給されます。

### 基本的な電源コネクタの種類と接続先一覧

ATX メインコネクタ	ATX12V コネクタ	Serial ATA 機器用コネクタ
		
形状：2列 24/20pin 20pin+4pin も有 用途：マザーボード	形状：田型 4pin 4pin+4pin も有 用途：CPU	形状：L型 用途：IDE 機器 (HDD、光学ドライブ)
IDE 機器用コネクタ	FDD 用コネクタ	PCI Expressx16 コネクタ
		
形状：平型 4pin (大) 用途：IDE 機器	形状：平型 4pin (小) 用途：FDD	形状：6pin 用途：ハイエンドグラフィックボード用